

第17回

# 親と子の

# 古墳めぐり

1999-05-05



備陽史探訪の会



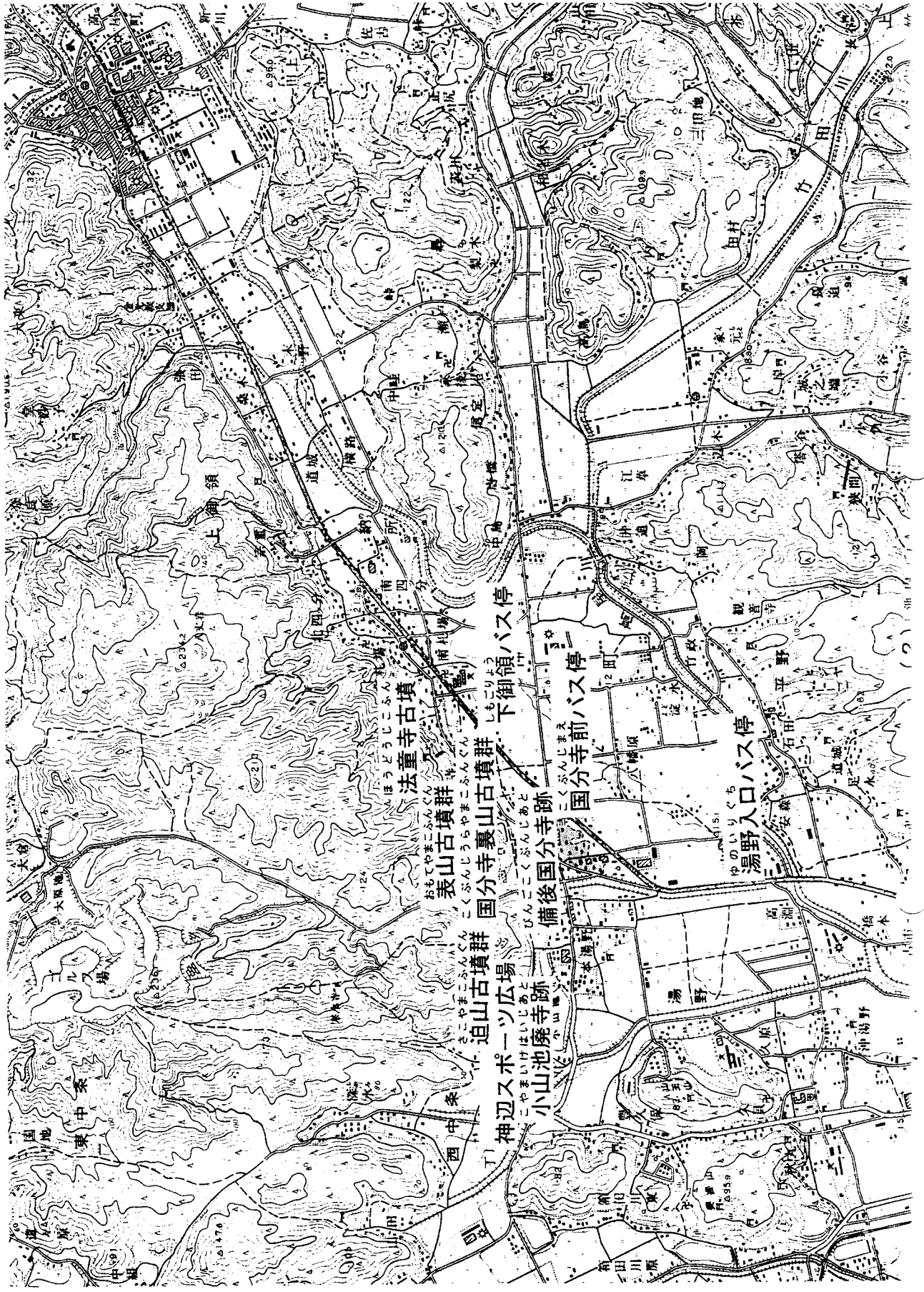


【注 意】

① 交通ルールを守って歩きましょう

② 班長さんの言うことをよく聞いて行動しましょう

③ ゴミは必ず持って帰るか、ゴミ箱に捨てましょう



法重寺古墳

表山古墳群

迫山古墳群

神辺スポーツ広場

小山池廃寺跡

備後国分寺跡

国分寺前バス停

湯野入口バス停

下御領バス停

湯野

高洲

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

上御領

道城

中野

江草

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

湯野

## きょうの予定

- 8時 ふくやまえきまえしゅうごう  
福山駅前集合
- 8時40分 いかさ いばら  
井笠バス「井原行き」乗車
- 8時50分 しゅっぱつ  
出発!
- 9時10分 しもごりょう ていげしゃ  
「下御領」バス停下車
- 9時20分 ほうどうじあと とうちやく  
法童寺跡に到着
- 9時25分 あさ ちゅうい  
朝のあいさつ、注意など
- 9時50分 ほうどうじこふんけんがく せつめい  
法童寺古墳見学：説明
- 10時10分 びんごこくぶんじあととうちやく せつめい  
備後国分寺跡到着：説明
- 10時30分 こくぶんじうらやまこふんぐんとうちやく おもてやま こふんぐん  
国分寺裏山古墳群到着：さらに表山古墳群
- 12時 ひるきゅうけい ひる  
昼休憩：昼ごはん：クイズ大会
- 1時30分 しゅっぱつ  
出発!!
- 1時35分 さこやまだい ごうこふんとうちやく  
迫山第9号古墳到着
- 2時 せつめい  
迫山第1号古墳到着：説明
- 2時30分  
迫山第3号古墳到着
- 2時35分 かななべ ひろば  
神辺スポーツ広場到着：お別れのあいさつ

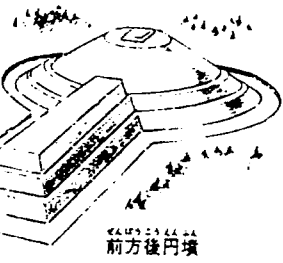
\* 井笠バス：福山行き（450円）

バス停「こくぶんじまえ国分寺前」15:04、15:34、16:04

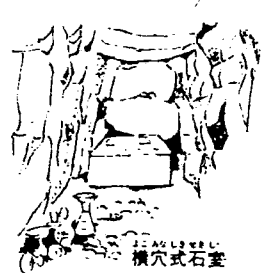
バス停「ゆのいりぐち湯野入口」…「国分寺前」の次です

年代	時代	できごと
300	弥生時代	<p>邪馬台国の女王ヒミコが中国に使者を送る</p> <p>この頃から、前方後円墳がつくられはじめる</p>
	古墳前期	<p>東日本でも、大型の前方後円墳がつくられる</p>
400	古墳中期	<p>近畿を中心に巨大な前方後円墳がさかんにつくられる</p>
	古墳後期	<p>横穴式石室が、全国に広がる</p>
500	古墳時代	<p>群集墳がつくられる</p>
	古墳後期	<p>聖徳太子が摂政となる</p> <p>大化の改新</p> <p>大きな古墳はほとんどつくられなくなる</p> <p>各地で寺院がつくられる</p>
600	古墳時代	<p>奈良に都（平城京）がつくられる</p>
	飛鳥時代	
700	奈良時代	
	奈良時代	

女王ヒミコ



前方後円墳



横穴式石室



群集墳



## 古墳時代とは…

いまからおよそ1700年前、弥生時代が終わった紀元約300年頃から700年頃までの400年間は、巨大な墓づくりが行われた時代でした。そこでこの時代を「古墳時代」といいます。

弥生時代にも墳丘墓と呼ばれる大きな墓がつけられました。これらの墓は、各地域ごとに独自につくられ、形にもいろいろありました。ところが古墳時代には全国的に共通した形と内容をもつ古墳がつけられました。

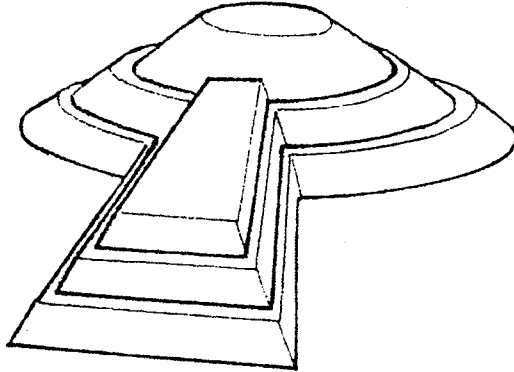
各地域のリーダーである有力者は巨大な墓である古墳に葬られましたが、古墳はただの墓でなく、儀式を行う場所でもあり、近畿地方のヤマト政権とのつながりの深さを各地域で確かめる場所でもあったのです。

400年におよぶ古墳時代には、少しずつ変化があります。この古墳の變化から古墳時代は大きく、前期、中期、後期、終末期に分けられます。古墳時代は各種の技術が大きく発展した時代でした。鉄の道具、武器武具や各種の工芸品の生産がさかんになり、これらの生産が集中する地域もでき、それらにはヤマト政権が深くかかわっていきました。

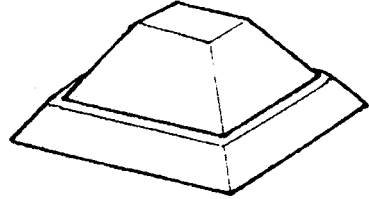
古墳時代はこのような背景をもつヤマト政権が中心となって、日本が一つのまとまった国家として姿をあらわしはじめた時代なのです。

こふん  
●古墳のかたち

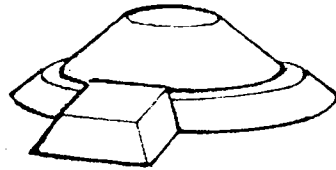
ぜんほうこうえんふん  
前方後円墳



ほうふん  
方墳



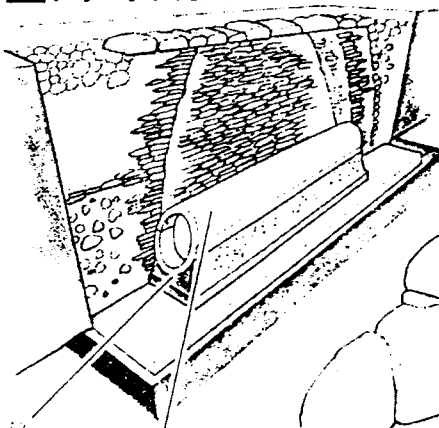
ほ たてが い し き こ ふん  
帆立貝式古墳



えんふん  
円墳



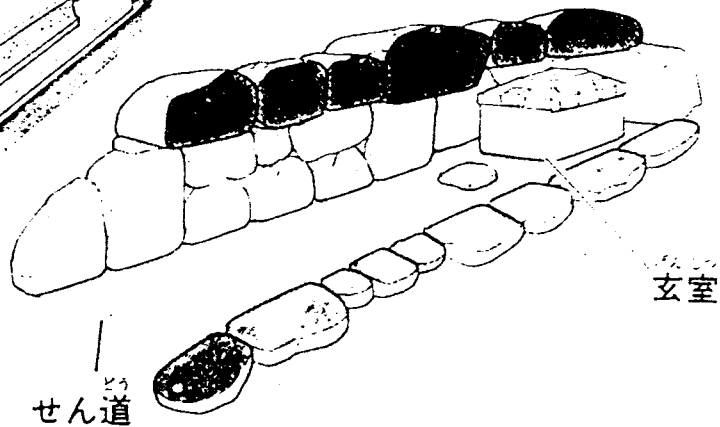
たてあなしきせきしつ  
竪穴式石室



ねんどこい  
粘土床

わりたがた  
割竹形  
しつかん  
木棺

よこあなしきせきしつ  
横穴式石室



せん道

たまご  
玄室

ふくそうひん うつ か  
**●副葬品の移り変わり**

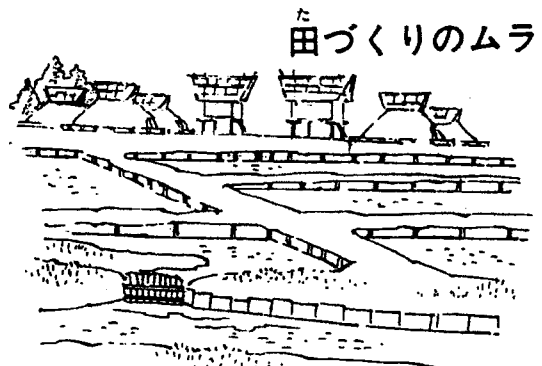
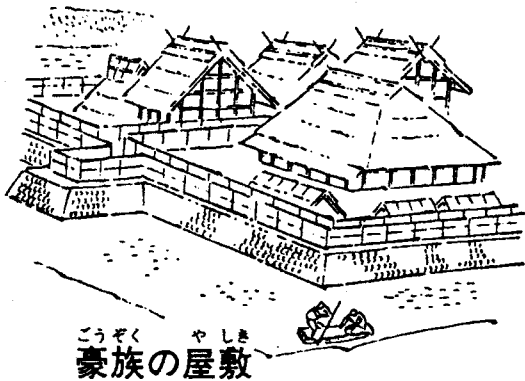
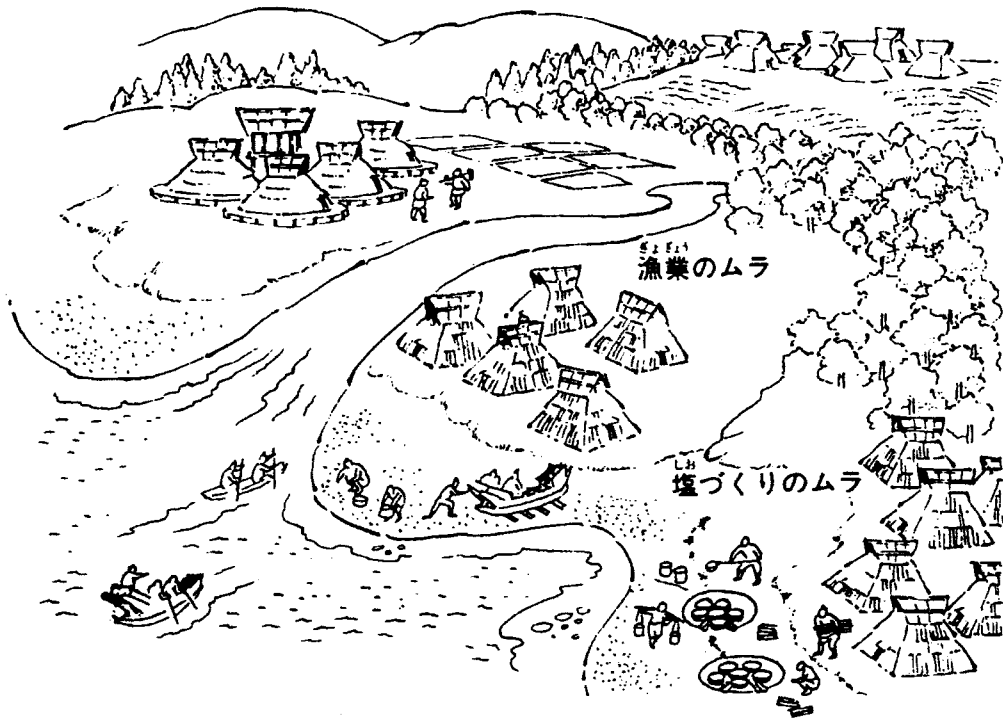
<p>前 期</p> <p>ぜん き</p>	 <p>銅鏡</p>	 <p>石製腕輪 形宝器</p>	<p>てつせいのもくこうぐ 鉄製農工具</p> 
<p>中 期</p> <p>ちゆう き</p>	<p>せきせいしものうりひん 石製模造品</p> 	<p>ぶく 武具</p>  <p>きんぞく そうしんぐ 金属の装身具</p> 	<p>ばく 馬具</p> 
<p>後期・ 終末期</p> <p>ごうき しゆうまうき</p>	<p>すえき 須恵器</p> 	<p>さうしんぐ 装身具</p>  <p>なげ 刀</p> 	 <p>ばく 馬具</p> 

# こふんじだい 古墳時代のムラ

古墳時代のムラは水田などを望む<sup>すいでん</sup>台地<sup>のぞ</sup>や丘<sup>だいち</sup>の上<sup>おか</sup>につくられました。また畑作<sup>はたさく</sup>を中心としたムラのほか、海<sup>うみ</sup>辺<sup>べ</sup>で漁業<sup>ぎょぎょう</sup>を営むムラなどがありました。このころのムラは弥生時代<sup>やよいじだい</sup>以来<sup>いらい</sup>の竪穴<sup>たてあな</sup>式<sup>しき</sup>住居<sup>じゅうきょ</sup>が中心です。これらがおよそ10個ほど集まって1つのムラができています。ほかにも時期<sup>じき</sup>によって塩づくり<sup>しお</sup>、埴輪づくり<sup>はにわ</sup>などを専門<sup>せんもん</sup>とするムラもあらわれました。

平地<sup>ひらち</sup>のムラ

高台<sup>たかだい</sup>のムラ



けんがく こふん てらあと  
～これから見学する古墳・寺跡～

ほうどうじこふん  
①法童寺古墳

ほうどうじこふんぐん ちゅうしんてき げんざい なが やく  
法童寺古墳群の中心的な古墳で、現在の長さは約6

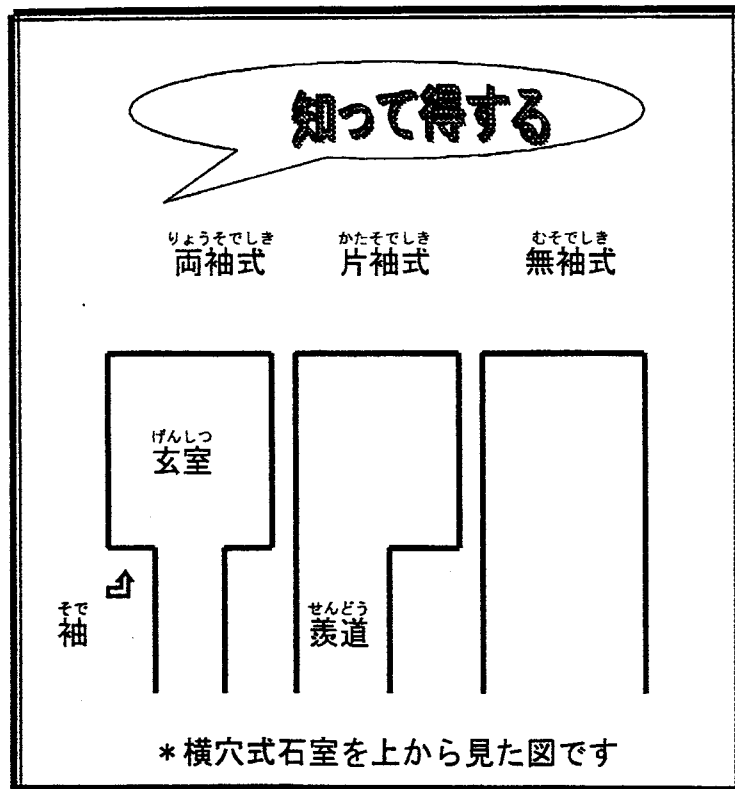
はば たか  
メートル、幅1.7メートル、高さ1.5メートルです。

せきしつ よこあなしせきしつ だん つ  
石室は横穴式石室で、大きな石を2段に積み、石の

ひょうめん ととの けず あと  
表面には面を整えるために削った痕がみられます。

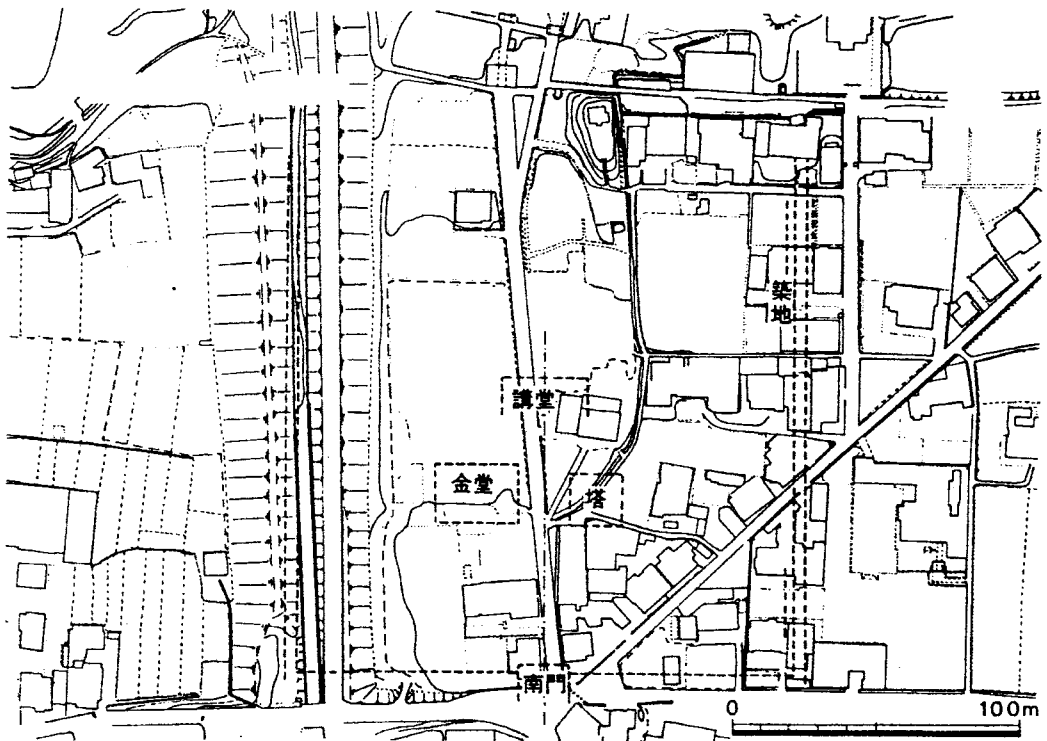
つく じき かたち つくり かた  
造られた時期は古墳の形や石室の造り方などから

せいき こうはんいこう  
6世紀後半以降と考えられます。

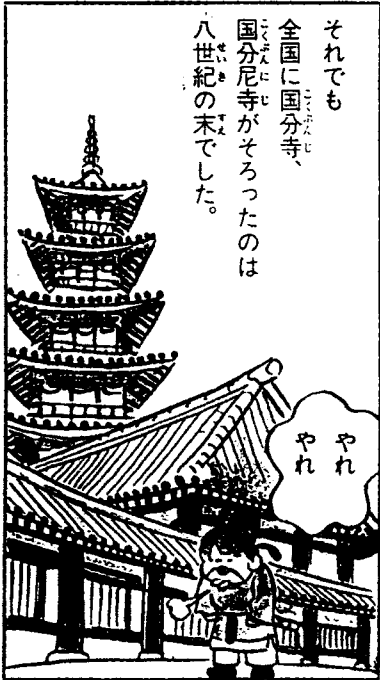


びんごこくぶんじあと  
②備後国分寺跡

な ら し だ い    ぜんこく                      こくぶんじ                      びんご こく  
奈良時代に全国に造られた国分寺の中で備後国のもの  
です。1972年（昭和50年）に発掘調査され東西、南  
ほく                      ほんい    てらあと                      かんが  
北ともに180メートルの範囲が寺跡だと考えられています。  
たてもの    ひがし    とう    にし    こんどう    きた    こうどう    かくにん  
建物は東に塔、西に金堂、北に講堂が確認されていま  
す。



こくぶんじ  
国分寺ものがたり



三月、諸國に国分寺・国分尼  
寺建立の詔がだされました。困  
ったのは国司たちです。



しかしそれから七年すぎて  
も、国分寺のできない地方が  
ありました。そこで政府は建  
立費用の補助を、ふやすこと  
にしました。

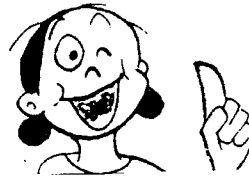
こくぶんじうらやまこふんぐん  
③国分寺裏山古墳群

国分寺の裏山にある古墳群で、道の両側りょうがわに小さな横  
穴式石室はこしきせつかんや箱式石棺はこしきせつかんがいくつか見られます。

さあ、いくつ見つけられますか？

ぐんしゅうふん  
群集墳とは？…

その名のとおり、小さな古墳こふん  
が狭い範囲せまはんいにたくさん集まってあつ  
作られている状態じょうたいをいい、古墳  
時代の6世紀代せいきだいに全国ぜんこくで見られる傾向けいこうです。



この群集墳は—

- ① 山の斜面しゃめんや谷たになどを利用して、②主に直径おもちよっけい  
10メートルこがたくらいの小型えんぶんの円墳すうじゅうわんが、③数十年きかん  
の期間すうきに数基ぜんこくから数10基しゅうちゅうてきが集中的きずに築かれ  
ていて、④横穴式石室よこあなしきせきしつをもつものが多く、  
⑤いずれも副葬品ふくそうひんはわずか、なのが特徴とくちょうです。

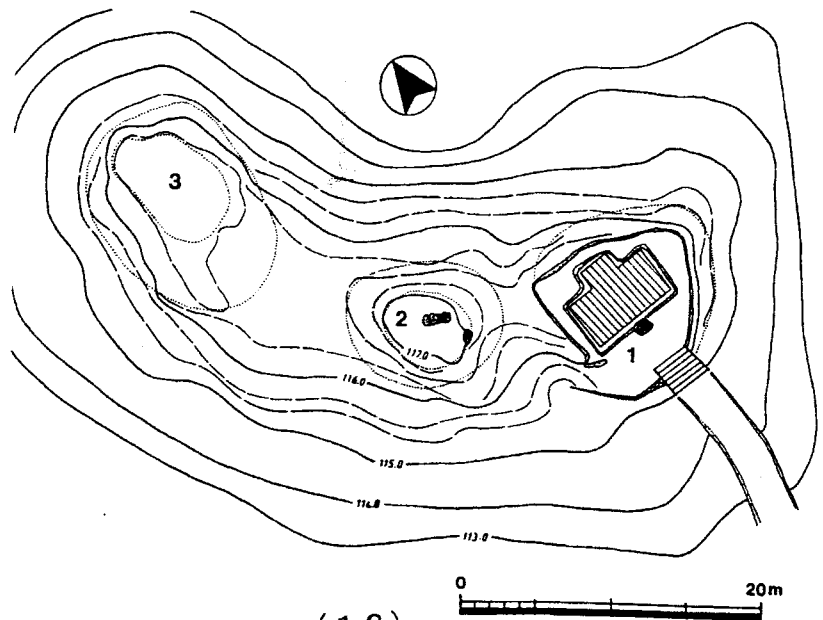
ぐんしゅうふん  
群集墳が築かれたということは、それまで  
一部の有力者ゆうりょくしゃしか作れなかった古墳しやうちいきが小地域  
単位たんいでの有力者のレベルまで古墳つくを作れるよ  
うになってきたということを示しめしています。

備陽史探訪の会編『古墳探訪』より要約

おもてやまこふんぐん  
④表山古墳群

国分寺裏山古墳群をさらに進むと、頂上に古墳が三基並んでいます。これが表山古墳群です。その中の第2号古墳は1972年（昭和47年）に発掘調査が行われました。それによると第2号古墳は直径が10.5メートル～8.1メートルのゆがんだ円墳で、内部主体は箱式石棺でした。箱式石棺は横も蓋も石は3枚ずつ使われていて、石と石の隙間だけでなく石棺すべてを粘土でおおっていました。石棺には2体の人骨と玉類がおさめられていました。

この古墳は5世紀の中頃から後半に造られたと考えられています。



さこやまこふんぐん  
⑤迫山古墳群

きゅうりょう みなみしやめん かくにん  
丘陵の南斜面に現在11基の古墳が確認されています  
すが、その中で代表的な三基を紹介します。  
だいひょうてき しょうかい

○第1号古墳

ちよっけい  
この古墳は直径19メートル、高さ約5メートルの円墳で、  
まいそうしせつ  
埋葬施設は横穴式石室です。

横穴式石室は長さ11.3メートル、幅2.5メートル、高さ  
2.8メートルの大きさをもっています。これはひろしま  
けん  
県の中でもさいだいきゆう  
最大級の大きさと言えます。

この古墳は1983年（昭和58年）に発掘調査が  
行われました。この時、かたな てつぞく  
刀、鉄鏃（鉄のやじり）、  
まがたま くだたま どき じかん  
勾玉、管玉、土器、耳環（イヤリング）などが見つ  
かっています。中でもかんとうたち  
環頭太刀は大きなせい  
成果で  
した。

この古墳は6世紀後半からお  
終わり頃  
に造られた  
と考えられています。

○第3号古墳

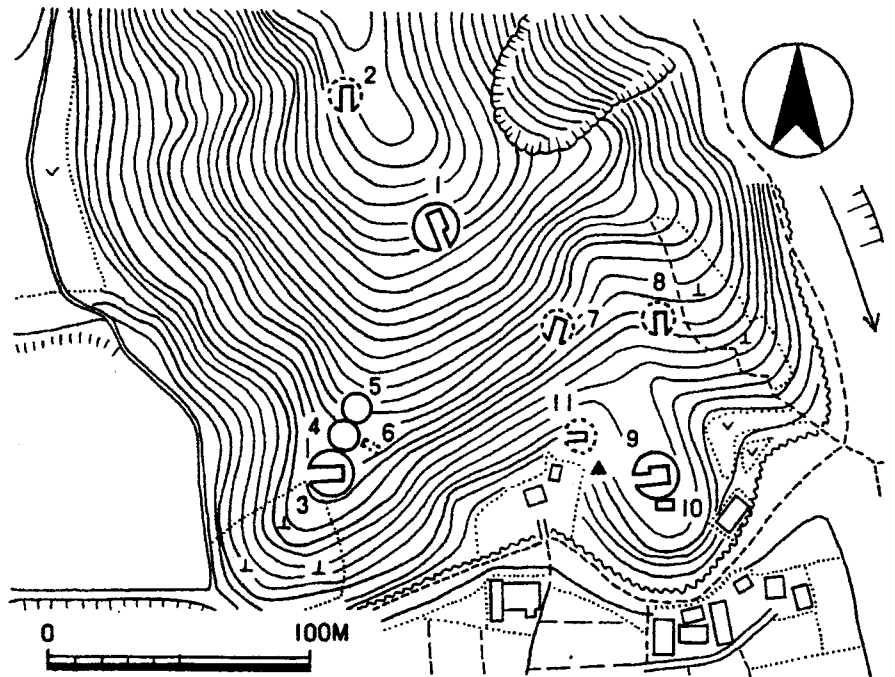
直径15メートル、高さ2.1メートルの円墳で、埋葬施設は全長6.8メートル、幅1.2メートルの横穴式石室です。

石室は西に向いて開いています。

○第9号古墳

直径19メートル、高さ2.6メートルの円墳で、埋葬施設は全長11メートル、現在の高さ1.6メートルの横穴式石室です。

比較的大きな石室で西に向いて開いています。

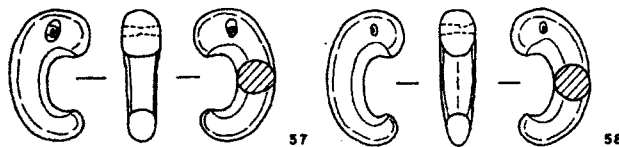
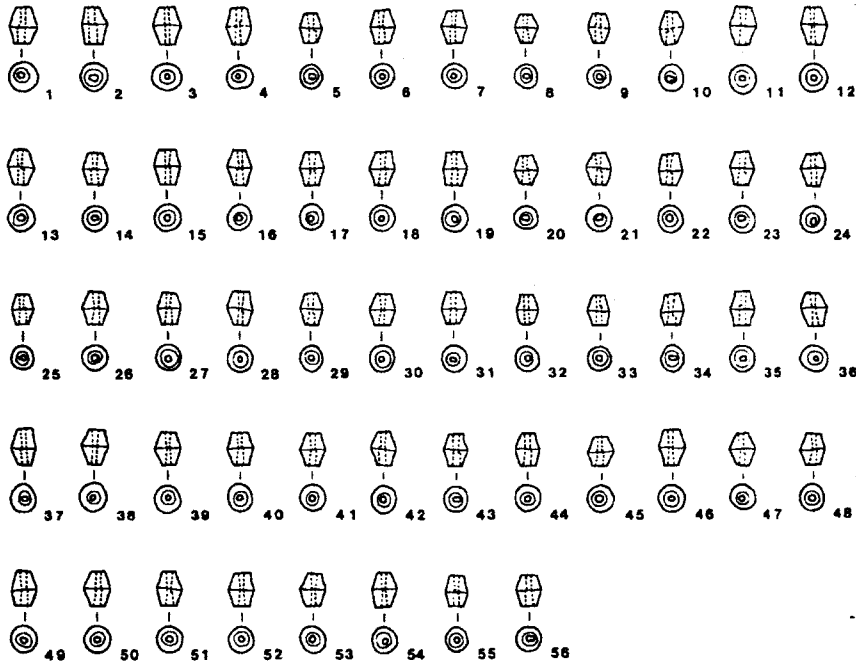
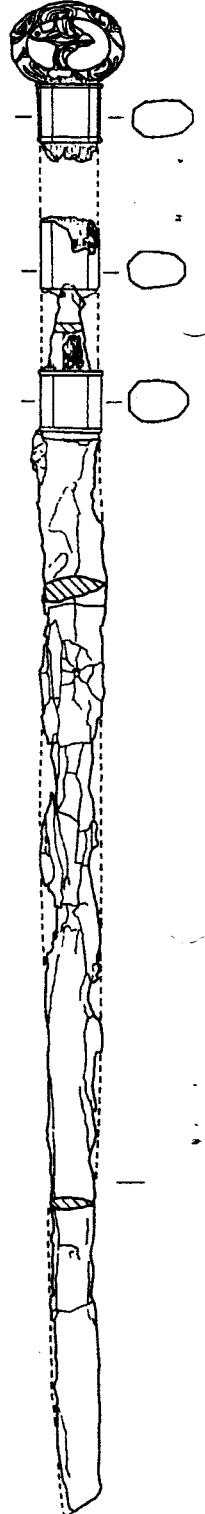
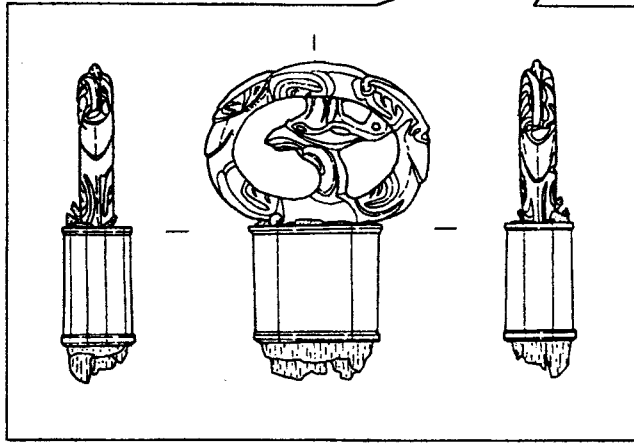


# 迫山第1号古墳から見つかった

## おもなもの

かんとうたち  
環頭太刀

かくだいず  
拡大図







資料作成：古墳研究部会 山口 哲晶